

2025 年
総会記念
シンポジウム開催！

くらしと協同の研究所
2025年
総会記念シンポジウム

2. わたしの経営学に対する理解

- ・経営学は経営者や管理者（のめ）のための学問ではない。
→ 業・業に人（管理）を伴う以上どうしても大切な学び。
- ・「企業」が「事業」を「経営」する。
- 全ての「企業」には「事業」があり、「事業」の目的は営利である。
- ・日本経済の基盤「大学教育の分野別教育保証のための教育課程編成上の基幹事業（経営学分野）」（2013年5月）への貢献。
- https://www.es.kyushu-u.ac.jp/info/kaihyo/pdf/kaihyo_22_0337.pdf
- ・経営学には多様な学問が融合することがあるが、その「参照基準」は、学問・学問の境界を越えていく（経営学が学問として存在する前提）である。

2025 年 総会記念 シンポジウム開催！

くらしと協同の研究所
2025年
総会記念シンポジウム

2. わたしの経営学に対する理解

- ・経営学は経営者や管理者（のめ）のための学問ではない。
→ 業・業に人（経営者）を助ける学問として大抵な学問。
- ・「企業」が「事業」を「経営」する。
- ・業・業としての「事業」には説明期を要する。「事業」の目的は業・業である。
- ・日本経済の発展「大学教育の分野別教育保証のための教育課程編成上の原則（経営学分科）」（2012年1月）の九條。
- ・https://www.es.kyushu-u.ac.jp/info/kaihyo/pdf/kaihyo_22_0337.pdf
- ・経営学には多様な学問が存在するが、その「説明基準」は、業・業に人（経営者）を助ける学問として大抵な学問である。業・業としての「事業」には説明期を要する。経営学の研究は、業・業としての「事業」の目的を達成するための学問である。

2025 年 総会記念 シンポジウム開催！

くらしと協同の研究所
2025年
総会記念シンポジウム

2. わたしの経営学に対する理解

- ・経営学は経営者や管理者（のめ）のための学問ではない。
→ 業・業に人（経営者）を助ける学問として大抵な学問。
- ・「企業」が「事業」を「経営」する。
- ・業・業としての「事業」には説明期を要する。「事業」の目的は業・業である。
- ・日本経済の発展「大学教育の分野別教育保証のための教育課程編成上の原則（経営学分科）」（2012年1月）の九條。
- ・https://www.es.kyushu-u.ac.jp/info/kaihyo/pdf/kaihyo_22_0337.pdf
- ・経営学には多様な学問が存在するが、その「説明基準」は、業・業に人（経営者）を助ける学問として大抵な学問である。業・業としての「事業」には説明期を要する。経営学の研究は、業・業としての「事業」の目的を達成するための学問である。

- [illegible]

挨拶



若林靖永氏

(佛教大学：本研究所前理事長)

司会



北川太一氏

(摂南大学：本研究所新理事長)

コーディネーター



細川孝氏

(龍谷大学：本研究所企画委員)

実践報告



黒田 直義氏

(生活協同組合コープこうべ 常勤
理事 人事・総務統轄 統轄本部長)



久木 由人氏

(福井県民生活協同組合 管理部・DX
推進部 部長)



宮川 光太郎氏

(こと京都株式会社 / こと京野菜株
式会社 番頭執行役員)

ディスカッション



コメンテーター



山野 薫氏
(京都橘大学：本研究所理事)



木下 和紗氏
(摂南大学：本研究所研究員)

2025 国際協同組合年・特別講演



比嘉 政浩氏
(日本協同組合連携機構（JCA）代表理事専務)



国際協同組合年